【2023/6】(那覇キャンパス)園児の新型コロナウイルスに係るOISの方針

新型コロナウイルスの感染が確認された場合の対応について

(1) 未就学児・施設職員等の対応

①登園の目安：「発症日を0日として5日間かつ症状軽快から24時間経過するまで」

0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
発症	症状軽快(発症後1日目~4日目)				24時間	登園可能	
発症					症状軽快(5日目以降)	24時間	登園可能
無症状(検体採取日)	無症状で5日経過						登園可能

＜注＞症状軽快とは⇒解熱剤を使用せずに解熱し、かつ、呼吸器症状が改善傾向にあること。

②職員等については、発症から10日経過するまでは、ウイルス排出の可能性があることから、不織布マスク着用やハイリスク者との接触は控えるよう推奨します。

③登園可能日については、①の登園の目安を参考に、園と発症日や症状軽快日の確認をして把握してください。

(2) 出席停止の取り扱いに関して

出席停止となるのは、発症者のみとします。

陽性者となった園児	出席停止(公欠)※1
濃厚接触者(家族が陽性者)となった園児	通常登園※2

※1.園児が陽性者となった場合

速やかにスクールへご連絡ください。

平日(08:00-18:00) 098-835-1851

※対応については、開校時間内の対応となります。

- ・発症した後5日を経過し、かつ症状が軽快軽快した後一日を経過するまで出席停止
- ・症状が軽快とは、解熱剤を使用せず解熱し、かつ呼吸器症状が改善傾向にある状態のこと
- ・無症状の場合は、検体を採取した翌日から起算し5日を経過するまで出席停止です
- ・出席停止解除後発症から10日を経過するまでは感染の恐れがあるためマスク着用を推奨
- ・出席停止の期間が短縮されることは基本的に想定されません
- ・証明書の提出は不要です。

※2.園児が濃厚接触者(家族が陽性者)になった場合

- ・濃厚接触者(接触者を含む)の特定が行われなくなるため、通常どおりの登園となります
- ・同居家族が陽性者となった園児も、感染が確認されない場合は登園可となります
- ・陽性者と感染対策を行わずに飲食を共にした場合も、感染していない園児は登園可

風邪症状がある園児	登園可※3
家族に風邪症状がある園児	通常登園※4

※3.園児に風邪症状がある場合

- ・発熱や咽頭痛、咳等の普段と異なる症状がある場合は、無理せず自宅で休養してください
- ・園児に風邪症状がみられる場合でも登校可となります(公欠とはなりません)
新型コロナウイルスとアレルギーなどその他の疾患との区別が困難なためです。

※4.家族に風邪症状がある場合

園児園児の同居家族に風邪症状がみられても、本人に症状が何も見られない場合は通常登校となります。

健康観察

- ・2023年6月1日から、登園前の体温チェック、風邪症状の有無の報告を廃止します。
ただし、登園前にご自宅でお子様の健康状態を必ず確認してください。
少しでも普段と違う症状がみられましたら、必ず担任と連携を取ってください。
- ・登園時の玄関での体温チェック、手指消毒も求めないこと(個人の判断)とします。

学級・スクール閉鎖について

那覇市の指針に基づいて対応します。

沖縄本島外へ行った園児

- ・登園前の抗原検査やPCR検査は求めません
- ・沖縄本島を出て県外や離島等へ行く場合は、基本的な感染症対策をお願いします。
- ・十分な健康観察を徹底した上で登園してください。
- ・体調不良がみられた場合は登園をお控えください。

マスク着用の考え方

- ・マスクの着用を求めないことを基本(個人の判断)とします。
- ・マスクを着用しない場合でも、常時マスクは携帯してください。
- ・感染が大きく拡大している場合には、一時的に場面に応じた適切なマスクの着用を広く呼びかけるなど、より強い感染対策を求めることがあります。